

平成 2 3 年度事業報告

I 事業

平成 2 3 年度は、プラズマ技術産業応用支援事業やものづくり基盤技術の高度化支援事業をはじめとする研究開発の促進、創業や新たな事業展開に関する相談・研修事業など中小企業等への支援に努めた。また、次世代ものづくり基盤技術を集積させた新たな産業見本市の開催や誘致に積極的に取り組んだほか、平成 2 2 年度に引き続き、指定管理者として市民サービスの一層の向上を図るため、安全・安心でより効率的な施設の管理運営に努めた。さらに、平成 2 2 年 9 月に財団法人名古屋市工業技術振興協会との合併により、同協会から引き継いだ中小企業の技術者等の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を、はじめて一年間通じて実施したほか、賛助員企業をはじめとする当地域の中小企業のニーズを踏まえた事業展開を積極的に図った。

| | | | |
|---|--------------|-----|-----------|
| 1 | 先端技術研究開発推進事業 | 決算額 | 72,982 千円 |
|---|--------------|-----|-----------|

サイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・独立行政法人理化学研究所
 - 「介護支援ロボットの研究開発」
 - 「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
 - 「人間－ロボット協調による生活支援に関する研究」
- ・財団法人名古屋産業科学研究所
 - 「シリコンカーバイドの単結晶を用いた超硬工具の研究開発」
- ・財団法人中部科学技術センター
 - 「自己整合技術を用いた有機光テープモジュールの開発」
- ・財団法人名古屋産業振興公社
 - 「テラヘルツ光技術の産業応用に関する研究」

| | | | |
|---|----------------|-----|-----------|
| 2 | プラズマ技術産業応用支援事業 | 決算額 | 98,752 千円 |
|---|----------------|-----|-----------|

プラズマ技術産業応用センターにおいて、愛知・名古屋地域知的クラスター創成事業(第 I 期)による研究成果等を活用し、中小企業の技術革新を進めるため、名古屋市工業研究所の参画や関係大学の協力の下、中小企業等の技術相談やテスト処理・分析(機器トライアル)など様々なニーズにきめ細かく対応し、また、意欲ある中小企業への研究開発資金の提供、プラズマ技術の情報発信を通して、

プラズマ技術によるものづくり技術の高度化の支援に努めた。

また、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業を会員としたプラズマが拓くものづくり研究会（略称「PLAM」）において、講演会等の実施によるプラズマ技術の普及啓発や研究部会での技術課題の検討等、産業応用センターと連携して産業応用を推進した。

(1) 産業応用センターの運営

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口の開設

専門的知識・経験を有するチーフテクニカルコーディネーター及びテクニカルコーディネーターを配置し、企業からの技術相談に対応した。

技術相談 39社 279件

イ テスト処理・分析の実施

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

トライアル件数 21社 913件

ウ 可能性トライアルの実施

従来の機器トライアルを発展させ、中小企業等の技術的課題等をさらに深く研究するため、平成23年10月から企業の経費負担によってトライアル試験を行い、課題解決を図った。

可能性トライアル件数 3社 5件

エ 産業応用センターの利用促進及び技術動向調査の実施

技術移転コーディネーター（2名）の訪問等により、産業応用センターが行う支援事業や保有機器等の情報提供を行い、産業応用センターの利用促進を図った。また、プラズマ技術の産業応用に関する企業や市場の動向を調査するとともに、最新のプラズマ技術に関する情報を収集し、産業応用センターの運営に反映した。

対応企業 延べ171社

オ 産業応用センター運営会議の開催

シニアアドバイザー、有識者等を委員とした運営会議を設置し、産業応用センター事業の戦略等について議論し、運営に反映した。

会議開催 4回

カ 産業応用センターの月刊誌発行

PLAM会員及び関係機関の担当者に対し、産業応用センター及びプラズ

マ技術に関する情報を毎月提供した。

定期号 12回

(2) PLAMの運営

会員企業 303社
講演会開催 9回（うち実習5回）
国際シンポジウム開催 1回
参加者 延べ555人

また、PLAM参加企業と名古屋市工業研究所が共同で立ち上げた研究部会において、表面改質や廃液処理等の共通課題の解決に取り組んだ。

部会 3部会（環境イノベーション、表面処理、計測・制御）
参加企業 5社
部会開催 6回

(3) 創造的プラズマ技術産業応用研究開発事業費の補助

中小企業等が単独では実施し難い新技術・新製品に繋がる研究開発を促進することにより、地域産業の活性化に資することを目的として、中小企業等が行うプラズマ技術の産業応用を図るための研究開発に要する経費を補助した。

補助件数 3件

| | | | |
|---|----------|-----|----------|
| 3 | 共同研究受託事業 | 決算額 | 52,364千円 |
|---|----------|-----|----------|

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の運営管理を行った。

- ・テーマ 「高周波誘導加熱による錫めっきウイスキーの抑制技術と加熱処理の工程短縮、省エネルギー技術の開発」

(平成22～23年度事業)

「樹脂製導光板に三次元形状の微細溝を精密加工するために、被加工面形状の機上計測機能を具備した多軸制御工作機の開発」

(平成22～24年度事業)

「透過型格子フィルタ法を用いた次世代型フィルム検査装置の開発」

(平成23～25年度事業)

(※いずれも経済産業省の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）)

| | | | |
|---|----------|-----|----------|
| 4 | 研究開発促進事業 | 決算額 | 5,254 千円 |
|---|----------|-----|----------|

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 環境分野 資源循環型ものづくり研究会

会員 8 大学 149 企業

開催 2 回、参加者 60 人

(イ) 医療・福祉・健康分野 ヒューマンインターフェイス研究会

会員 10 大学 147 企業

開催 1 回、参加者 69 人

(ウ) 情報分野 N-c u b e

会員 13 大学 383 企業

開催 3 回、参加者 167 人

(エ) ものづくり技術分野 CAE を活用したものづくり研究会

会員 3 大学 39 企業

開催 6 回、参加者 257 人

イ 連携相談事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議の開催等 2 回

(2) 資源循環型ものづくりに関するシンポジウムの開催

開催日 平成23年12月7日

場所 名古屋市工業研究所

参加者 351 人

内容 特別講演会、事例研究の発表及び表彰、技術情報交流会

| | | | |
|---|-----------|-----|------------|
| 5 | 新事業創出支援事業 | 決算額 | 160,795 千円 |
|---|-----------|-----|------------|

(1) 相談・研修事業、外国出願支援事業及び事業可能性評価委員会の運営

ア 相談・研修事業

創業や新たな事業展開を進めようとする起業家や中小企業を支援するため、プロジェクトマネージャー等を設置し、窓口相談や企業訪問によるア

ドバイス等を行ったほか、各種研修を行った。

(ア) 相談事業

相談企業 539社
相談内容 1,145件

(イ) 研修事業

・起業家支援セミナー（3日間）

開催日 平成23年7月2日、9日、16日
場所 ナディアパーク デザインセンタービル（会議室）
対象 起業を考えている方等（入門編）
参加者 32人
内容 起業家としての心構えや事業の立ち上げ

・情報化研修

開催日 平成23年9月27日、10月7日、26日
場所 名古屋ソフトウェアセンター
対象 情報化を進める中小企業
参加者 延べ58人
内容 情報セキュリティー等

・新事業支援セミナー（2日間）

開催日 平成24年1月28日、2月4日
場所 ナディアパーク デザインセンタービル（会議室）
対象 第二創業を検討する中小企業
参加者 18人
内容 自社のビジネスプランの作成等

・ITベンチャー支援セミナー

開催日 平成24年2月29日
場所 名古屋市中小企業振興会館（会議室）
対象 中小企業や起業を考えている方
参加者 76名
内容 スマートフォンアプリのビジネスへの可能性

イ 中小企業外国出願（特許・意匠）支援事業

中小企業の海外への事業展開を支援するために、日本国出願に基づく外国出願（特許・意匠）費用を1/2以内で補助した。

出願件数 5件

ウ 事業可能性評価委員会の運営

中小企業が行おうとする新事業の可能性について評価した。

事業可能性の評価 1社

なごやビジネスマッチング事業の対象企業の選定審査 16社

(2) ビジネスマッチング事業

創業間もない企業、個人等を対象に販路拡大や事業提携を支援するため、事業計画を募集し、発表の機会を提供した。

なごや発ビジネスプラン募集・発表

プラン発表企業等 3社

発表会参加者 70人（財団法人あいち産業振興機構と共催）

(3) 大学発のベンチャー支援

将来性が見込める大学のシーズを活用した優れたビジネスプランを顕彰し、発表・マッチングの機会を提供するための発表会・交流会を開催したほか、地元大学が主催する展示会に出展し、支援制度のPRをはじめ情報提供を行った。

ア 大学発ベンチャービジネスプラングランプリ発表会・交流会の開催

開催日 平成24年1月27日

場所 名古屋市中小企業振興会館

プラン発表企業等 5社2学生

発表会参加者 168人

交流会参加者 93人

イ 地元大学主催の展示会への出展

・名大テクノフェア

出展日 平成23年9月2日

参加者 56人

・中部大フェア

出展日 平成23年8月26日

参加者 44人

(4) 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市関係支援機関を中心に、各機関が連携・協力し、創業や新事業にか

かる出前型のワンストップ相談及び関係施策のPRを行った。また、名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（22支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議を開催した。

○ 名古屋市関係支援機関

- ・名古屋市中小企業振興センター
- ・公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
- ・名古屋市工業研究所
- ・名古屋市信用保証協会
- ・財団法人名古屋産業振興公社

ア ワンストップ相談の実施日・場所

- ・ウェルフェア2011
(平成23年5月20日～22日 ポートメッセなごや)
- ・TECH Biz EXPO 2011
(平成23年10月19日～22日 ポートメッセなごや)
- ・しんきんビジネスフェア
(平成23年10月28日 ポートメッセなごや)
- ・メッセナゴヤ2011
(平成23年11月9日～12日 ポートメッセなごや)

イ 名古屋市新事業創出連絡会議

あいち新事業活動促進連携会議と合同で開催した。

- ・担当者会議の開催 1回

(5) 専門家派遣事業

ア 専門家派遣（創業・新事業・経営革新）

経営革新等に取り組む中小企業に中小企業診断士等の専門家を派遣し、支援した。

派遣企業 3社

派遣回数 24回

イ 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業 8社

派遣回数 81回

(6) 中小企業見本市等出展支援事業等

市内中小企業者を首都圏の見本市に出展させることにより、販路開拓を支援した。

出展支援企業 3社

また、独自に販売ルートを持たない中小企業に試作品・新製品等を市内で開催される見本市・展示会に出展する機会を提供した。

出展支援企業 2社

(7) 技術・経営相談等支援事業

都市型工業団地(nabi/金山、nabi/白金)の入居企業に対して、専門家への相談料、見本市への出展料等に対する支援を行った。

支援件数 44件

(8) インキュベーションマネージャーによる支援

都市型工業団地(nabi/金山、nabi/白金)の入居企業の支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 22件

日常的な経営相談 204件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを3名配置し、入居者の支援を行った。

(9) 創業準備ルームの開設及び運営

都市型工業団地(nabi/白金)において市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに創業マネージャー等による研修及び相談支援を行った。

第1期・第2期支援者 28名

創業者 9名

| | | | |
|---|-------------|-----|-----------|
| 6 | 普及啓発・情報提供事業 | 決算額 | 155,574千円 |
|---|-------------|-----|-----------|

(1) 普及啓発事業

ア 第22回マイクロ・ナノメカトロニクス国際シンポジウム「MHS2011」の開催

マイクロ・ナノメカトロニクス分野の先端技術に関する研究成果の普及啓

発を図るため、名古屋市や他の科学技術振興団体と共同で、シンポジウムを開催した。

開催日 平成23年11月6日～9日
場所 名古屋大学（野依記念学术交流館 他）
参加者 167人

イ 市民向け啓発事業（なごや・サイエンス・ひろば）

市民の科学技術に対する理解と関心を深めるため、研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介、科学技術に関するイベント等を行った。

開催日 平成23年8月6日
場所 サイエンス交流プラザ、サイエンスパーク研究開発センター、
先端技術連携リサーチセンター、独立行政法人産業技術総合研
究所
参加者 約2,400人

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2011」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日 第1次審査会 平成23年6月10日
最終公開審査会 平成23年9月15日
場所 第1次審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザイン工房)
最終公開審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)
応募作品 3,653点（うち海外からの応募作品314点）
来場者 708人（最終公開審査会）

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催 7回
参加者 延べ866人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供するため、講習会・講演会や会員交流会を開催した。

| | |
|------------------|-----|
| 講演会・講習会 | 14回 |
| 優良企業の見学会・交流会 | 29回 |
| 他都市の先端企業の見学会・交流会 | 4回 |
| 会員交流会等 | 18回 |

(4) ものづくり交流フォーラム・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「プラズマ技術」と「熱とエネルギー対応技術」をテーマとした、ものづくり交流フォーラムを開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり交流フォーラム

| | |
|-----|----------------|
| 開催日 | 平成24年2月15日、16日 |
| 場所 | 名古屋市工業研究所 |
| 参加者 | 403人 |

イ 工業技術グランプリ

| | |
|------|------------|
| 開催日 | 平成24年2月15日 |
| 場所 | 名古屋市工業研究所 |
| 受賞企業 | 9企業 |

(5) 情報提供・交流フロアの運営

急速な技術開発に対応し、最新技術の情報を正確かつ迅速に提供するため、産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料（約4万冊）を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

| | |
|------------|---------|
| 図書館来館者 | 6,650人 |
| 情報交流フロア利用者 | 12,752人 |

| | | | |
|---|----------|-----|-----------|
| 7 | 産業人材育成事業 | 決算額 | 28,385 千円 |
|---|----------|-----|-----------|

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の確保、熟練技能者の退職に伴う技能継承教育の推進、中小企業の技術開発力の強化のための研修・実習等を開催した。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習を行った。

電子回路技術研修など10コース 受講者 135社 164人

イ 中小企業技能者育成講座

技能の継承を支援するため、熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座を実施した。

鉄工技能士1級2級講座など3コース 受講者 55社 68人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、業種を問わず産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等を開催した。

「ものづくり支援講座」として6コース

ア 産業用ロボット作業者特別教育講習会

開催 年6回(奇数月隔月) 受講者 120社 173人

イ 現場管理者の生産管理(トヨタ生産方式)研修

受講者 14社 22人

ウ 機械設計図面の見方・読み方研修

受講者 25社 39人

エ 知的財産担当者養成講座

受講者 前期 15社 20人

後期 9社 11人

オ 機械材料の知識と選択法研修

受講者 12社 13人

カ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

受講者 13社 20人

| | | | |
|---|------------|-----|-----------|
| 8 | 工業技術情報提供事業 | 決算額 | 12,307 千円 |
|---|------------|-----|-----------|

中小企業における工業技術力の向上を図るため、工業技術に関する指導及び相談を行うとともに、講演会、先進工場見学会の開催、情報誌の発行等により、工業技術に関する情報提供を行った。

(1) 工業技術相談・指導

ア 工業技術相談

相談件数 115件

イ 工業技術指導

指導回数 8回

(2) 新春講演会・懇親会の開催

開催日 平成24年1月17日

場所 ホテルキャッスルプラザ

参加者 122人

(3) 情報提供

ア 先進工場見学会の開催

開催日 平成23年11月8日

場所 IHI愛知事業所

三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所

飛島工場

参加者 36人

イ 「技術のひろば」の発行

発行 4回 発行部数 各1,500部

ウ 商品展示・カタログ展示

(ア) 商品展示

展示場所 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

展示企業 8社

(イ) カタログ展示

展示場所 名古屋市中小企業振興会館

名古屋国際展示場 (ポートメッセなごや)

名古屋市工業研究所

展示企業 19社

エ 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

オ 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

| | | | |
|---|-------------|-----|----------|
| 9 | 経済交流・誘致促進事業 | 決算額 | 7,859 千円 |
|---|-------------|-----|----------|

(1) 第14回国際福祉健康産業展「ウェルフェア2011」の開催

開催日 平成23年5月20日～22日

場所 ポートメッセなごや

出展者 111社・団体

来場者 71,475人

内容 福祉車両をはじめ、福祉用具、健康機器等の紹介・展示

同時開催 「介護・福祉・医療関連の就職・転職説明会」

(開催日 平成23年5月21日)

(2) 次世代ものづくり基盤技術産業展

－TECH Biz EXPO 2011－の開催

開催日 平成23年10月19日～22日

場所 ポートメッセなごや

出展者 136社・団体

来場者 20,901人

内容 「素材」から「製品」まで、次世代リーディング産業に活かす
をテーマに最新の素材と加工技術、関連サービスを紹介

(3) 外資系企業誘致促進事業

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、名古屋市を始め関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 9件

| | | | |
|----|------------|-----|----------|
| 10 | 関係団体事務受託事業 | 決算額 | 2,832 千円 |
|----|------------|-----|----------|

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

| 団体名・代表者 | 助言者 | 会員 |
|---|----------------------------------|-----|
| テクノプラザナゴヤ91 会長 オハラ樹脂工業株式会社 代表取締役社長 尾原 成夫 氏 | 林 盛彦 氏 | 20社 |
| テクノプラザナゴヤ08 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝 氏 | 有限会社エムエスアイ研究所 代表取締役社長 喜田 佳弘 氏 | 28社 |
| テクノプラザナゴヤ001 会長 アサヒ繊維工業株式会社 代表取締役社長 浅井 耕治 氏 | 愛知学院大学 教授 岩田 憲明 氏 | 22社 |
| テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気株式会社 代表取締役会長 萩原 義昭 氏 | ニシキ経営研究所 所長 加藤 信一郎 氏 | 22社 |

(2) 各種研究団体

画像技術研究会
 社団法人組込みシステム技術協会
 中部生産加工技術振興会
 中部治工具懇話会
 中部塗装技術研究会
 中部歯車懇話会
 中部プラスチック技術振興会
 中部溶接振興会
 名古屋テキスタイル研究会
 日本カム工業会
 鍍金技術研究会

| | | | |
|----|---------------|-----|--------------|
| 11 | 管理運営を行う産業振興施設 | 決算額 | 1,190,351 千円 |
|----|---------------|-----|--------------|

(1) 展示施設

| 施設名 | 利用件数 | 利用日数 |
|----------------------|------|------|
| 名古屋市中小企業振興会館 | | |
| 吹上ホール | 72件 | 220日 |
| 第1ファッション展示場 | 91件 | 241日 |
| 第2ファッション展示場 | 71件 | 181日 |
| 名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや) | | |
| 第1展示館 | 28件 | 84日 |
| 第2展示館 | 41件 | 124日 |
| 第3展示館 | 65件 | 182日 |
| デザインホール | | |
| | 138件 | 218日 |

(2) 研究開発・支援施設

ア 都市型工業団地 (nabi/金山、nabi/白金)

nabi/金山 入居16社

nabi/白金 入居28社

イ サイエンス交流プラザ

大会議室 23件

中会議室 64件

インキュベータ入居 6室

ウ 地域密着型ビジネス支援施設 (COMBI本陣)

創業支援施設 入居7団体

NPO活動支援施設 入居10団体

12 その他

賛助員 355社 (平成24年3月31日現在)

II 庶務の概要

1 理事会

第1回理事会

開催日 平成23年4月1日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選任について

第2回理事会

開催日 平成23年5月31日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 (1) 平成22年度事業報告及び決算報告について
(2) 平成23年6月1日就任の評議員の選出について
(3) 公益財団法人への移行に伴う最初の評議員候補者の推薦について
(4) 公益財団法人への移行に伴う最初の代表理事及び業務執行理事の選任について
報告 (1) 新定款案について
(2) 評議員選定委員会委員名簿について

第3回理事会

開催日 平成23年11月9日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 (1) 公益財団法人への移行に伴う定款の全部改正について
(2) 公益財団法人への移行に伴う役員及び評議員の報酬等支給規程の制定について
(3) 公益財団法人への移行認定申請書について

第4回理事会

開催日 平成24年3月28日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 (1) 平成24年度事業計画案及び収支予算案について
(2) 公益財団法人への移行に伴う諸規程の整備について

2 評議員会

第1回評議員会

- 開催日 平成23年5月30日
- 場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
- 議案 (1) 平成22年度事業報告及び決算報告について
(2) 平成23年6月1日就任の理事の選任について
(3) 公益財団法人への移行に伴う最初の評議員候補者の推薦について
(4) 公益財団法人への移行に伴う最初の理事及び監事の選任について
- 報告 (1) 新定款案について
(2) 評議員選定委員会委員名簿について

第2回評議員会

- 開催日 平成23年11月4日
- 場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
- 議案 (1) 公益財団法人への移行に伴う定款の全部改正について
(2) 公益財団法人への移行に伴う役員及び評議員の報酬等支給規程の制定について
(3) 公益財団法人への移行認定申請書について

第3回評議員会

- 開催日 平成24年3月23日
- 場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
- 議案 (1) 平成24年度事業計画案及び収支予算案について
(2) 公益財団法人への移行に伴う諸規程の整備について
(3) 常勤役員（理事長）の業績評価について

3 評議員選定委員会

- 開催日 平成23年6月17日
- 場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
- 議案 公益財団法人への移行に伴う最初の評議員の選任について